

茨城県久慈鉱山含銅硫化鉄鉱床委託調査報告

要 旨

茨城県庁の委託により命を受け昭和26年11月9日より8日間茨城県久慈郡河内村町屋にある久慈鉱山の含銅硫化鉄鉱床を概査した。調査鉱床は黒礫および昌栄の両鉱床で、古生代の緑色片岩層中に胚胎し、一部は破碎を受けている。昌栄鉱床は古く金鉱として開発されたもので、角礫帯中に胚胎し、走向N20°E~NS、傾斜80°W、巾1~2mで、角礫状の鉱塊が認められる。黒礫鉱床は第一鉱床および第二鉱床よりなり、母岩の角閃岩は珪化および絹雲母化を受け、走向N10°W、傾斜80°W、規模は延長20~40m、巾1~2mである。黒礫坑内において

第一鉱床に着鉱し、鏡巾5mに達するが、走向N10°Wの粘土脈および絹雲母脈により寸断される。鉱石は黄鉄鉱・黄銅鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱・自然金等よりなる。昌栄鉱床に関しては二号坑内において南鏡押を進め、黒礫鉱床に関しては、黒礫坑内において南北両鏡押および西押を行うべきものと思うが、後者の方が今後の探鉱結果によつては有望視されるものと思う。附近の地質構造は複雑で鉱床の賦存状況判然とせず、探鉱困難であるから、まとまつた鉱床の存在を確めるため、域内全般に亘り地表および坑内精査を行い、鉱量の増加を計るべきである。
(宮本弘道・時津孝人)

高知県幡多郡地下資源概査報告

(稻井信雄)

月報第3巻第2号正誤表

訂正事項：地質調査所月報第3巻第2号41頁第3図地質凡例、最左欄2欄の内、PORONAIとしたものの内下二段 (Mudstone および Big Marly Nodule-bearing Mudstone) のみをPORONAIとし、その上5段

(Alternation of Claystone & Siltstone から上 Alternation of Siltstone & Sandstone まで) のSERIESは?とする。

訂正事項：同第3巻第2号2頁右方18行目「耐火煉瓦協会若林滋会長」とあるは「耐火煉瓦技術会若林滋委

員長」と訂正致します。

静岡県藤枝町天然ガス地質調査報告附図正誤表

- 1. 第一図 BB' 断面線の中央：砂質石灰岩の記号落ち
- 2. 第一図 DD' 断面線の右より：断層記号の間に女

- 神泥岩の記号落ち
- 3. 第二図 EE' 断面線右下部：不整合の記号の下位に女神泥岩の記号落ち